

*IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE*

Applicant: Naoya MURAKAMI  
Title: IMAGE FORMING SYSTEM WITH SCANNER CAPABLE  
OF CHANGING MAGNIFICATION OF SCANNED IMAGE  
Appl. No.: Unassigned  
Filing Date: September 25, 2000  
Examiner: Unassigned  
Art Unit: Unassigned

**UTILITY PATENT APPLICATION**  
**TRANSMITTAL**

Assistant Commissioner for Patents  
Box PATENT APPLICATION  
Washington, D.C. 20231

Sir:

Transmitted herewith for filing under 37 C.F.R. § 1.53(b) is the nonprovisional utility patent application of:

Naoya MURAKAMI

Enclosed are:

- [ X ] Japanese Language Specification, Claim(s), and Abstract (30 pages).
- [ X ] Informal drawings (9 sheets, Figures 1-10).
- [ X ] Declaration and Power of Attorney (2 pages).
- [ X ] Assignment of the invention to TOSHIBA TEC KABUSHIKI KAISHA.
- [ X ] Assignment Recordation Cover Sheet.

The filing fee is calculated below:

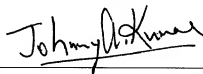
	Claims as Filed	Included in Basic Fee	Extra Claims	Rate	Fee Totals
Basic Fee				\$690.00	\$690.00
Total Claims:	15	- 20	= 0	x \$18.00	= \$0.00
Independents:	8	- 3	= 5	x \$78.00	= \$390.00
Assignment Recordation Fee				\$40.00	\$40.00
Surcharge Under 37 CFR 1.17(k)				\$130.00	\$130.00
If any Multiple Dependent Claim(s) present:			+	\$260.00	= \$0.00
				SUBTOTAL:	= \$1250.00
[ ] Small Entity Fees Apply (subtract ½ of above):					= \$0.00
				<b>TOTAL FILING FEE:</b>	<b>= \$1250.00</b>

- [ X ] A check in the amount of \$1,250.00 to cover the filing fee is enclosed.
- [ ] The required filing fees are not enclosed but will be submitted in response to the Notice to File Missing Parts of Application.
- [ X ] The Assistant Commissioner is hereby authorized to charge any additional fees which may be required regarding this application under 37 C.F.R. §§ 1.16-1.17, or credit any overpayment, to Deposit Account No. 19-0741. Should no proper payment be enclosed herewith, as by a check being in the wrong amount, unsigned, post-dated, otherwise improper or informal or even entirely missing, the Assistant Commissioner is authorized to charge the unpaid amount to Deposit Account No. 19-0741.

Please direct all correspondence to the undersigned attorney or agent at the address indicated below.

Respectfully submitted,

By



Date September 25, 2000

FOLEY & LARDNER  
Washington Harbour  
3000 K Street, N.W., Suite 500  
Washington, D.C. 20007-5109  
Telephone: (202) 672-5489  
Facsimile: (202) 672-5399

Johnny A. Kumar  
Attorney for Applicant  
Registration No. 34,649

## TITLE OF THE INVENTION

IMAGE FORMING SYSTEM WITH SCANNER CAPABLE OF CHANGING  
MAGNIFICATION OF SCANNED IMAGE

## BACKGROUND OF THE INVENTION

コピー機などの画像形成装置では、プリントキーがオンされると、原稿台にセットされた原稿に光が照射され、その原稿からの反射光像がCCD (Charge Coupled Device) の受光面に投影されて電気信号に変換される。

上記CCDは、多数の画素が行方向（横方向）および列方向（縦方向）に配列された受光面を有し、原稿などを主走査および副走査方向にスキャンすることにより、受光面に投影された光像の濃度に対応する電圧レベルの画像信号（アナログ信号）を出力する。

カラー画像のコピーが可能な画像形成装置の場合は、副走査方向に一定間隔（たとえば8ライン分）を空けて設定された3つのラインセンサ（第1～第3のラインセンサ）からなる3ラインセンサが使用される。そして、第1のラインセンサ上には赤色光を通す赤色フィルタが装着され、第2のラインセンサ上には緑色光を通す緑色フィルタが装着され、第3のラインセンサ上には青色光を通す青色フィルタが装着されている。この場合、初めに第1のラインセンサから赤色画像に対応する画像信号が出力され、次に、第2のラインセンサが走査されて緑色画像に対応する画像信号が出力され、続いて、第3のラインセンサが走査されて青色画像に対応する画像信号が出力される。

第1のラインセンサから出力される画像信号は、A/D変換器でデジタル信号に変換されて画像データRとなる。第2のラインセンサから出力される画像信号は、A/D変換器でデジタル信号に変換されて画像データGとなる。第3のラインセンサから出力される画像信号は、A/D変換器でデジタル信号に変換されて画像データBとなる。これら画像データR、G、Bに基づいて画像処理が実施され、この画像処理により、表現したい複数色に対応する複数の画像データY（黄）

M (マゼンタ)、C (シアン)、K (黒) が得られる。これらの画像データY、M、C、Kによりレーザー発生器が駆動され、レーザービームによるプリントが開始される。

上記した通り、第1、第2、第3のラインセンサが互いに一定間隔を空けて配置されていることから、画像データRが得られてから一定時間遅れて画像データGが得られる。同様に、画像データGが得られてから一定時間遅れて画像データBが得られる。

従って、カラー画像を適正にプリントするためには、画像データBが得られるまで画像データR、Gをメモリ等を用いて遅延保持しておき、画像データR、G、Bが揃ってから画像処理を実施し、この画像処理により得られる画像データY、M、C、Kに基づいてプリントを開始している。

しかしながら、副走査方向に於ける読み取り（スキャン）倍率変更時にこのような遅延処理を行うと、実際に出力された画像において副走査方向の書き出し位置（用紙に複写される画像の副走査方向におけるプリント開始位置）がずれるという問題が生じる。

すなわち、読取倍率が100%のときには、ラインセンサの物理的な位置に起因して遅延処理すべき時間は、たとえば8ライン分相当となる。しかし、読取倍率がたとえば400%になると、読取速度が1/4に低下するため、遅延処理すべき時間は32ライン相当となる。

通常、3ラインセンサでは、最も出力の遅いセンサ（上記の例では青色用のラインセンサ）に合わせて、他のセンサ（上記の例では赤色用ラインセンサと緑色用ラインセンサ）の出力タイミングを調整している。従って、読取倍率が100%のときには3つのラインセンサの出力が揃うまでに $8 \times 2 = 16$ ライン分の遅延処理が必要となるが、読取倍率が400%になると $8 \times 4 \times 2 = 64$ ライン分の遅延処理が必要となる（読取倍率100%と400%とでは、遅延処理を要するライン数が、 $64 - 16 = 48$ ライン分異なる）。

ところで、従来の画像形成装置では、プリンタ部のレジストローラが感光体ドラムに用紙を送り込むタイミングは、読取倍率が100%のときに合わせて設定されている。このため、読取倍率が100%以外に変更されると、用紙にプリン

トされる画像の位置（用紙の搬送方向に沿う位置、すなわち副走査方向の書き出し位置）がずれてしまうという不具合が発生する。

いま、具体例として、読取倍率が100%のときに16ライン分の遅延処理がなされることを考慮して、用紙の副走査方向上端から例えば5mmの余白（ボイド幅）が得られるように複写画像の書き出しタイミングが設定されている場合を想定してみる。この想定下で読取倍率を400%に変更すると、複写画像の書き出しタイミングは、読取倍率100%の場合のタイミングから48ライン分（＝64ライン－16ライン）分遅れる。すると、上記5mmの余白よりも48ライン分（＝ $8 \times 4 \times 2$ ライン－16ライン）余計に余白（ボイド幅）が広がる。

プリント解像度がたとえば600dpiの場合、上記の想定下では、読取倍率400%のときに余白がおおよそ2ミリ増え、 $5\text{mm} + 2\text{mm} = 7\text{mm}$ となる。つまり、読取倍率を100%から400%に変更すると、上記余白のサイズ（ボイド幅）が2mmずれてしまう。

#### BRIEF SUMMARY OF THE INVENTION

この発明の目的は、原稿画像の読取倍率が変更されても、その原稿に対応する画像が常に用紙の適正な位置にプリントされることを保証できる画像形成システム（装置および方法）を提供することである。

上記目的を達成するために、この発明に係る画像形成装置は、原稿の画像を読み取って画像信号を生成する画像読取手段と；前記画像読取手段から供給される前記画像信号に対応する複写画像を用紙に形成する画像形成手段と；前記画像形成手段に前記用紙を供給する給紙手段と；前記画像読取手段により前記原稿画像を読み取る時の読取倍率を設定する倍率設定手段と；前記用紙の先端とこの用紙に形成される前記複写画像の先端との間の余白のサイズ（ボイド幅）が前記読取倍率の種類によらず一定となるように、前記画像読取手段から前記画像形成手段への前記画像信号の供給タイミングおよび前記給紙手段から前記画像形成手段への前記用紙の供給タイミングの少なくとも一方を制御するタイミング制御手段とを備えている。

また、上記目的を達成するために、この発明に係る画像形成方法は、原稿の画像を読み取って画像信号を出力するスキャナおよび前記画像信号に対応した画像を用紙に複写するプリンタを備え、前記スキャナによる原稿の読取倍率を設定する読取倍率設定手段が設けられるとともに、前記スキャナが前記原稿を主走査方向およびこの主走査方向と直交する副走査方向に光学的に走査して得られる信号を出力するイメージセンサを含み、前記プリンタが前記スキャナに前記副走査方向の読み取りを開始させる副走査読取開始信号を発生する副走査読取開始信号発生手段を含むシステムを用いる。

この画像形成方法では、上記システムにおいて、前記読取倍率が変更されたかどうかチェックし、前記読取倍率設定手段により前記読取倍率が変更された場合は、変更された読取倍率に応じて、前記副走査読取開始信号の発生タイミングを変更している。

ここで、前記副走査読取開始信号の発生タイミングは、前記用紙の先端とこの用紙に複写される前記原稿の画像の先端との間の余白のサイズ（ボイド幅）が前記読取倍率の変更に拘わらず一定となるように（D1G. 7（f）参照）変更される。

また、上記目的を達成するために、この発明に係る他の画像形成方法は、原稿の画像を読み取って画像信号を出力するスキャナおよび前記画像信号に対応した画像用紙に複写するプリンタを備え、前記スキャナによる原稿の読取倍率を設定する読取倍率設定手段が設けられるとともに、前記スキャナか前記原稿読取画像を一時記憶してから前記画像信号を出力する遅延メモリを含み、前記プリンタが前記用紙を供給する給紙手段を含むシステムを用いる。

この画像形成方法では、上記システムにおいて、前記読取倍率が変更されたかどうかをチェックし、前記読取倍率設定手段により前記読取倍率が変更された場合は、変更された読取倍率に応じて、前記遅延メモリに一時的に記憶された前記画像信号のピカタイミングと、前記給紙手段による前記用紙の供給タイミングとの相対的なタイミングを変更して、

ここで、前記相対的なタイミングは、前記用紙の先端とこの用紙に複写される前記原稿の画像の先端との間の余白のサイズ（ボイド幅）が前記読取倍率の変更

に拘わらず一定となるように（FIG. 8（g）参照）変更される。

Additional objects and advantages of the invention will be set forth in the description which follows, and in part will be obvious from the description, or may be learned by practice of the invention. The objects and advantages of the invention may be realized and obtained by means of the instrumentalities and combinations particularly pointed out hereinafter.

#### BRIEF DESCRIPTION OF THE SEVERAL VIEWS OF THE DRAWING

The accompanying drawings, which are incorporated in and constitute a part of the specification, illustrate presently preferred embodiments of the invention, and together with the general description given above and the detailed description of the preferred embodiments given below, serve to explain the principles of the invention.

FIG. 1は、カラー複写装置の内部構成を例示する図。

FIG. 2は、FIG. 1の装置の制御系の構成を説明するブロック図。

FIG. 3は、FIG. 2の画像処理部（36）の内部構成を説明するブロック図。

FIG. 4は、FIG. 1+FIG. 2の構成を、スキャナ部と画像処理部とプリンタ部に大別して示すブロック図。

FIG. 5は、FIG. 2のスキャナ部に含まれるCCDセンサおよび画像補正部の内部構成（例1）を示す図。

FIG. 6は、FIG. 2のスキャナ部に含まれるCCDセンサおよび画像補正部の内部構成（例2）を示す図。

FIG. 7は、FIG. 5の構成をFIG. 1～FIG. 4の構成に適用した場合において、用紙先端とこの用紙に形成される画像先端との間の余白（バインド

幅)を、スキャナの画像読取倍率に拘わらず一定とする方法(その1)を模式的に説明する図。

FIG. 8は、FIG. 6の構成をFIG. 1~FIG. 4の構成に適用した場合において、用紙先端とこの用紙に形成される画像先端との間の余白(ボイド幅)を、スキャナの画像読取倍率に拘わらず一定とする方法(その2)を模式的に説明する図。

FIG. 9は、FIG. 7の方法(その1)に対応した処理手順を説明するフローチャート。

FIG. 10は、FIG. 8の方法(その2)に対応した処理手順を説明するフローチャート。

# DETAILED DESCRIPTION OF THE INVENTION

[1] まず、この発明の一実施の形態に係る画像形成装置(デジタルカラー複写機)の全体構成を、FIG. 1~FIG. 4を参照して説明する。

FIG. 1は、この発明の一実施の形態に係る、デジタル式カラー複写機などの画像形成装置の内部構成を概略的に示している。

この画像形成装置は、大別して、図示しない原稿上のカラー画像を読み取る画像読取手段としてのスキャナ部1と、読み取ったカラー画像の複製画像を形成する画像形成手段としての4連タンデム方式のプリンタ部2とから構成されている。

スキャナ部1は、その上部に原稿台カバー3を有し、閉じた状態にある原稿台カバー3に対向する位置に原稿がセットされる原稿台4を有している。この原稿台4は、原稿がセットされる透明ガラスなどで構成される。

原稿台4の下方には、原稿台4に載置された原稿を照明するランプ5、ランプ5からの光を原稿に集光させるためのリフレクタ6、および、原稿からの反射光をFIG. 1の図示面に対して左方向に折り曲げる第1ミラー7などが備設されている。ランプ5、リフレクタ6、および、第1ミラー7は、第1キャリッジ8に固定されている。第1キャリッジ8は、図示しない駆付きベルトなどを介して図示しないモータによって駆動されることにより、原稿台4の下面に沿つ



で平行移動するようになっている。

第1キャリッジ8に対して図中左側、すなわち、第1ミラー7により反射された光が案内される方向には、図示しない駆動機構（たとえば、歯付きベルト並びに直流モータなど）を介して原稿台4と平行に移動可能に設けられた第2キャリッジ9が備設されている。第2キャリッジ9内では、第1ミラー7により案内される原稿からの反射光を図中下方に折り曲げる第2ミラー11、および、第2ミラー11からの反射光を図中右方向に折り曲げる第3ミラー12が互いに直角に配置されている。第2キャリッジ9は、第1キャリッジ8に従動されるとともに、第1キャリッジ8に対して1/2の速度で原稿台4に沿って平行移動されるようになっている。

第2、第3ミラー11、12で折り返された光の光軸を含む面内には、第3ミラー12からの反射光を所定の倍率で結像させる結像レンズ13が備設されている。結像レンズ13を通過した光の光軸と略直交する面内には、結像レンズ13により集束性が与えられた反射光を電気信号に変換するCCDセンサ（光電変換素子）15が備設されている。このCCDセンサ15は、具体的には光の三原色に対応した3本のラインセンサで構成されている。

ランプ5からの光をリフレクタ6により原稿台4の原稿に集光させると、原稿からの反射光は、第1ミラー7、第2ミラー11、第3ミラー12、および、結像レンズ13を介してCCDセンサ15に入射され、ここで入射光がR（レッド）、G（グリーン）、B（ブルー）の光の3原色に応じた画像信号（電気信号）に変換される。

プリンタ部2は、周知の減色混合法に基づいて各色成分ごとに色分解された画像を形成する画像形成ブロックを備えている。この画像形成ブロックは、表現したい複数の色である、イエロウ（Y）、マゼンタ（M）、シアン（C）、および、ブラック（K）の4色の画像をそれぞれ形成する、第1の画像形成部10y、第2の画像形成部10m、第3の画像形成部10c、および第4の画像形成部10kを有している。

各画像形成部10y、10m、10c、10kの図示下方には、各画像形成部により形成された各色ごとの画像を図中矢印a方向に搬送する搬送手段としての

搬送ベルト 21 を含む搬送機構 20 が配置されている。搬送ベルト 21 は、図示しないモータにより矢印 a 方向に回転される駆動ローラ 91 と、駆動ローラ 91 から所定距離離開された従動ローラ 92 との間に巻回されて張設され、矢印 a 方向に一定速度で無端走行される。なお、各画像形成部 10y、10m、10c、10k は、搬送ベルト 21 の搬送方向に沿って直列に配置されている。

各画像形成部10y、10m、10c、10kは、それぞれ送送ベルト21と接する位置で外周面が同一の方向に回転可能に形成された像担持対としての感光体ドラム61y、61m、61c、61kを含んでいる。各感光体ドラム61y、61m、61c、61kは、図示しないモータにより所定の周速度で回転されるようになっている。

各感光体ドラム61y、61m、61c、61kは、その回転軸線が互いに等間隔になるように配設されているとともに、その軸線は搬送ベルト21により画像が搬送される方向と直交するように配設されている。なお、以下の説明においては、各感光体ドラム61y、61m、61c、61kの軸線方向を主走査方向とし、感光体ドラム61y、61m、61c、61kの回転方向、すなわち、搬送ベルト21の回転方向（図中矢印a方向）を副走査方向とする。

各感光体ドラム61y、61m、61c、61kの周囲には、主走査方向に延出された帯電手段としての帯電装置62y、62m、62c、62k、除電装置63y、63m、63c、63k、主走査方向に同様に延出された現像手段としての現像ローラ64y、64m、64c、64k、下攪拌ローラ67y、67m、67c、67k、上攪拌ローラ68y、68m、68c、68k、主走査方向に同様に延出された転写手段としての転写装置93y、93m、93c、93k、主走査方向に同様に延出されたクリーニングプレート65y、65m、65c、65k、および、排トナー回収スクルー66y、66m、66c、66kが、それぞれ感光体ドラム61y、61m、61c、61kの回転方向に沿って順に配置されている。

なお、各転写装置 93 y、93 m、93 c、93 k は、対応する感光体ドラム 61 y、61 m、61 c、61 k との間で搬送ベルト 21 を支持する位置、すなわち、搬送ベルト 21 の内側に配設されている。また、後述する露光装置 50 に

駆動ローラ 91 の外周上であって、位置ずれセンサ 96 の下流側の搬送ベルト 21 上には、搬送ベルト 21 上に付着したトナーあるいは用紙 P の紙かすなどを除去するための搬送ベルトクリーニング装置 95 が備置されている。

搬送ベルト21を介して搬送された用紙Pが駆動ローラ91から離脱されて、さらに搬送される方向には、用紙Pを所定温度に加熱することにより用紙Pに転写されたトナー像を溶融し、トナー像を用紙Pに定着させる定着装置80が配設されている。定着装置80は、ヒートローラ対81、オイル塗付ローラ82、83、ウェブ巻取りローラ84、ウェブローラ85、ウェブ押付けローラ86とから構成されている。この定着装置80により、用紙P上に形成されたトナーが用紙に定着され、排紙ローラ対87により排出される。

各感光体ドラム61y、61m、61c、61kの外周面上にそれぞれ色分解された静電潜像を形成するプリントエンジン（露光手段）50は、後述する画像処理装置36において色分解された各色ごとの画像データ（Y、M、C、K）に基づいて発光制御される半導体レーザ発振器60を有している。

半導体レーザ発振器60の光路上には、ポリゴンモータ54により回転駆動されレーザビームを反射／走査するポリゴンミラー51、および、ポリゴンミラー51により反射されたレーザビームの焦点を補正して結像させるためのfθレンズ52、53が順に設けられている。

fθレンズ53と各感光体ドラム61y、61m、61c、61kとの間には、fθレンズ53を通過した各色ごとレーザビームを各感光体ドラム61y、61m、61c、61kの露光位置に向けて折り曲げる第1の折り返しミラー55y、55m、55c、55kが配置されている。また、第1の折り返しミラー55y、55m、55cにより折り曲げられたレーザビームを更に折り曲げる第2の折り返しミラー56y、56m、56c、および、第3の折り返しミラー57y、57m、57cがさらに配設されている。

なお、黒用レーザビームは、第1の折り返しミラー55kにより折り返された後、他のミラーを経由せずに感光体ドラム61k上に案内されるようになっており、

FIG. 2は、FIG. 1の装置の制御系の構成を説明するブロック図である。

操作パネル40は、操作パネルCPU41を有し、FIG. 1の装置本体の上部に設けられている。操作パネルCPU41には、プリントキー42、条件設定キー43、および液晶表示部44が接続されている。また、操作パネルCPU4

1は、主制御部30のメインCPU31に接続されている。

条件設定キー43は、プリント枚数、プリント倍率（スキャナ部1での原稿読取倍率）などの各種条件を設定するためのものである。プリント倍率として、たとえば、1倍（100%とも称す）、2倍（200%とも称す）、4倍（400%とも称す）が用意されている。

主制御部30は、メインCPU31、ROM32、RAM33、NVM（不揮発性ランダムアクセスメモリ：nonvolatile RAM）34、共有RAM35、画像処理部36、ページメモリ制御部37、ページメモリ38、プリンタコントローラ39、およびプリンタフォントROM121を有している。

メインCPU31は、装置全体を制御する。ROM32は、この全体制御のための制御プログラムを格納している。後述するFIG. 9およびFIG. 10の処理を実行するファームウェアも、このROM32に格納しておくことができる。

RAM33は、ROM32のプログラム実行に伴い使用されるワークエリアを提供するとともに、種々なデータの一時記憶に用いられる。

NVM34は、図示しないバッテリーによりバックアップされた不揮発性メモリ（CMOSタイプのSRAM）、あるいは書き可能なEEPROMで構成できる。このNVM34には、ユーザが設定した種々なパラメータを（装置電源が落とされても消えないように）保存することに使用できる。

共有RAM35は、メインCPU31とプリンタCPU110との間の双方向通信、およびメインCPU31とスキャナCPU100との双方向通信に用いられる。

メインCPU31は、この共有RAM35に、スキャナCPU100への指令（FIG. 7のPVS YNC変更指令またはFIG. 9のステップST102のタイミング変更指令）および／またはプリンタCPU110への指令（FIG. 8の給紙タイミング変更指示またはFIG. 10のステップST202の制御指令）その他を、適宜書き込んでおくことができる。このようにすれば、スキャナCPU100および／またはプリンタCPU110は、必要な指令等を共有RAM35から適宜入手できるようになる。

また、スキャナCPU100からの情報および／またはプリンタCPU11か

らの情報を、共有RAM35に適宜書き込んでおくことができる。メインCPU31は、この共有RAM35への書き込みを適宜読み取ることにより、スキャナ部1および/またはプリンタ部2の現在の動作状況等を把握できる。

この共有RAM35は、たとえばプリンタCPU110からスキャナCPU100へ指示したい事項（たとえばスキャナの副走査読取開始指令）の情報転送中継場所としても利用できる（共有RAM35を中継せずスキャナCPU100とプリンタCPU110との間で直接情報交換するようにシステム構成することもできる）。

ページメモリ制御部37は、ページメモリ38に対する画像データの書き込み、およびページメモリ38からの画像データの読み出しを行う。ページメモリ38は、複数ページ分の画像データを記憶することができる。プリンタコントローラ39は、パーソナルコンピュータ等の外部機器122から入力されるプリントデータを画像データに展開する。プリンタフロントROM121は、フロントデータを記憶している。

スキャナ部1は、スキャナCPU100、ROM101、RAM102、CCDドライバ103、スキャンモータドライバ104、および画像補正部105を有している。ROM101は、スキャナ部用の制御プログラム等を記憶している。RAM102は、プログラム実行時のワークエリアとして、またプログラム実行に伴う種々なデータの一時記憶に用いられる。CCDドライバ103は、CCDセンサ15を駆動する。スキャンモータドライバ104は、キャリッジ8、9および各種ミラーなどの駆動用モータ16を駆動する。

画像補正部105は、CCDセンサ15から出力される画像信号（R、G、Bのアナログ信号）をそれぞれデジタル信号に変換するA/D変換器（略してADC）、シェーディング補正回路、およびラインメモリなどから構成されている。

メインCPU31は、操作パネルCPU41およびスキャナCPU100と協同して、下記（1）の手段を構成できる。

（1）CCDセンサ15による副走査方向の走査速度（スキャナの読取倍率に対応）を、操作パネル40の条件設定キー43で設定されるプリント倍率に応じて可変設定する倍率設定手段。

具体的には、プリント倍率1倍（スキヤナの読取倍率100%）が設定される  
 と、CCDセンサ15による副走査方向の走査速度は予め定められた標準値に設  
 定される。プリント倍率2倍（200%）が設定されると、CCDセンサ15に  
 よる副走査方向の走査速度は上記標準値の1/2に設定される。プリント倍率4  
 倍（400%）が設定されると、CCDセンサ15による副走査方向の走査速度  
 は上記標準値の1/4に設定される。

プリント部2は、プリンタCPU110、ROM111、RAM112、用紙  
 搬送制御部115、プロセス制御部116、定着制御部117、オプション制御  
 部118、および上記プリントエンジン50を有している。ROM111は、プ  
 リンタ部用の制御プログラム等を記憶している。RAM112は、プログラム実  
 行時のワークエリアとして、またプログラム実行に伴う種々なデータの一時記憶  
 に用いられる。用紙搬送制御部115は、FIG. 1に示す用紙Pの搬送を制御  
 する。プロセス制御部116は、帯電、現像、および転写などのプロセスを制御  
 する。

主制御部30の画像処理部36、ページメモリ38およびプリンタコントロー  
 ラ39は、画像データベースを介して、プリント部2のプリントエンジン50、お  
 よびスキヤナ部1の画像補正部105と相互接続されている。この相互接続によ  
 り、画像補正部105から出力された原稿読取画像信号（RGBデータ）が主制  
 御部30内の画像処理部36に供給される。

FIG. 3は、FIG. 2の画像処理部36の内部構成を説明するブロック図  
 である。

FIG. 2の画像補正部105から出力された原稿読取画像信号（RGBデー  
 タ）は、画像処理部36内の色変換部157に入力される。スキヤナ部1から画  
 像処理部36に入力されるカラー画像データはR、G、Bであるが、プリント部  
 2で扱うカラー画像データはC、M、Y、Kであるため、色データの変換が必要  
 となる。そこで、色変換部157により、画像データR、G、Bが、表現したい  
 複数の色に対応する複数の画像データC、M、Yに変換される。ユーザの好み  
 によるプリント画像の色調整も、色変換部157における色変換パラメータの切り  
 替えにより、行うことができる。

色変換部157の出力(画像データC、M、Y)は、ローパスフィルタ(LPF)158に送られる。このローパスフィルタ158により、スキャナ部1で読み取られた原稿画像中からノイズを除去したりモアレを除去するなどの空間フィルタ処理が行なわれる。

ローパスフィルタ158の出力は、拡大縮小部163に送られる。この拡大縮小部163により、原稿読取画像に対する主走査方向の拡大/縮小処理をデジタル処理で行うことができる(原稿読取画像に対する副走査方向の拡大/縮小処理は、前述したように、スキャナ部1のCCD15による副走査方向の走査速度を変更することで行うことができる)。

拡大縮小部163の出力は、墨入れ部169および黒文字生成部170にそれぞれ送られる。墨入れ部169は、送られてきた画像データC、M、Yから黒データKを生成し、その黒データKを画像データC、M、Yに付加する墨入れ処理を行うものである。また、黒文字生成部170は、画像データC、M、Yを重ねて黒データKを生成するものである。

ところで、黒文字は、3種類の画像データC、M、Yを重ねて表現するよりも黒一色で表現した方が、色純度と解像性(精細さ)の両面で高画質となる。この例では、墨入れ部169からの黒データKを用いた方が、黒文字の色純度も精細さもより良くなる。しかし、原稿の内容が文字でなく写真等多階調表現を要求するもの場合は、黒文字生成部170からの黒データKを用いた方が、階調表現力が良くなる。このため、FIG. 3の構成では、黒入れ部169の出力および黒文字生成部170の出力の何れか一方を選択部171で選択できるようになっている。

セレクト部171で選択された画像データC、M、Y、およびKは、γ補正部172に供給される。γ補正部172は、プリンタ部2のγ特性の補正を行う。この補正の際には、画像データC、M、Y、Kごとに設定されているγテーブル(図示せず)を参照して行うようになっている。

γ補正部172の出力は、記録処理部173に送られる。記録処理部173は、誤差拡散などの階調処理を行ない、たとえば、量子化ビット数が8ビットの画像データ(C、M、Y、およびK)を、見た目の階調性を損なわずに4ビット程度



スキャナ部1からの原稿読取画像に対応した画像形成をプリントエンジン50で行う際は、スキャナ部1に「副走査方向の読み取りを何時開始させるか」のタイミングを通知する必要がある。この通知を行うために、プリンタ部2のプリンタCPU110は、スキャナ部1のスキャナCPU100へ、副走査読取開始信号（略してPVS SYNC信号）を、所定のタイミングで供給するように構成されている。すなわち、プリンタCPU110が供給するPVS SYNC信号は、副走査

査タイミングを特定ものである。

プリンタ部１１０は、FIG. ２の用紙搬送制御部１１５を介してプリンタ部２での用紙搬送タイミングを制御しつつ、上記PVSYNＣ信号によって、スキャナ部１が原稿の読み取りを開始するタイミングを指定する。このPVSYNＣ信号の供給タイミングによって、プリンタ部２が用紙Pを搬送するタイミングとともに用紙Pのどの位置から原稿画像の形成（用紙Pへの画像書込）が開始されるかを決定できる。

[2] 次に、この発明の制御系に係る第1の実施形態について、FIG. 5、FIG. 7、FIG. 9を参照して説明する。

FIG. 5は、FIG. 2のスクヤナ部に含まれるCCDセンサおよび画像補正部の内部構成(例1)を示す図である。

CCDセンサ１５は、赤色用のＲラインセンサ４５１と、緑色用のＧラインセンサ４５２と、青色用のＢラインセンサ４５３とを有している。各ラインセンサ４５１～４５３は、その長手方向に直線状に並んだ多数の光電変換素子（ＣＣＤ素子）で構成される。Ｒラインセンサ４５１の受光面上には赤色光成分を選択的に通過させるＲフィルタ４５４が配置され、Ｇラインセンサ４５２の受光面上には緑色光成分を選択的に通過させるＧフィルタ４５５が配置され、Ｂラインセンサ４５３の受光面上には青色光成分を選択的に通過させるＢフィルタ４５６が配置されている。各ラインセンサ４５１～４５３は、各々の長手方向が主走査方向に並行し、副走査方向に所定の間隔（たとえば８ライン相当の間隔）をおいて並行に直列されている。

Rラインセンサ451からのR光電変換出力、Gラインセンサ452からのG光電変換出力、およびBラインセンサ453からのB光電変換出力（CCD15の受光面に投影された光像の濃淡に対応した電圧レベルを持つ、三原色の光電変換出力）は、それぞれ、画像補正部105内のバッファアンプ554～556に入力される。

ラインセンサ451~453からのRGB光電変換出力は、それぞれ、バッファアンプ554~556により増幅されたあと、A/D変換器(ADC)557~559に入力される。



ける画像補正部105からのRGB出力側のタイミングずれをゼロにできる。

ただし、倍率100%時と倍率400%時ではデータRの遅延時間が64—16—48ライン分異なる。この48ライン分のずれが、倍率100%時のボイド幅（用紙先端とこの用紙に形成される画像の先端との間の余白サイズ）と倍率400%時のボイド幅とが異なってしまう原因となる。

上記「読取倍率（プリント倍率）によってボイド幅が異なってしまう」問題を解消する第1の手段として、メインCPU31は、プリンタCPU110と協同して、下記（2）の手段を構成できる。

（2）前記ボイド幅が前記読取倍率によらず一定となるように（図7（f））、スキャナ部1からプリンタ部2への画像信号（CMYK）の供給タイミング（FIG. 4ではPVSYNCの発生タイミング）を制御する（図7（a）（d））タイミング制御手段。

前記ボイド幅が前記読取倍率によらず一定となるメカニズムについては、FIG. 7を参照して後述する。また、前記ボイド幅を前記読取倍率によらず一定にする制御処理手順については、FIG. 9を参照して後述する。

FIG. 5の実施の形態では、スキャナ部2のCCDセンサ15を構成する3ラインイメージセンサの読取倍率に応じた画像遅延を考慮して、スキャナCPU100は、前記駆動走査読取開始信号（PVSYNC信号）を受けてから画像読み取りを開始するまでのタイミングを故意に遅らせる制御を行なえるようになってい。このタイミングを故意に遅らせる制御には、図示しないCPUタイマ等が利用される。

また、スキャナ読取倍率をスキャナCPU100からプリンタCPU110に通信し、PVSYNC信号自体の供給タイミングを、上記3ラインイメージセンサの読取倍率による画像遅延に応じて変更することもできるようになっている。

このようなタイミング制御により、複写用紙に出力される画像のプリント開始位置（駆動走査方向の画像書込開始位置）を、スキャナ部2での原稿読取倍率（100%、200%、400%など）によらずに一定化できるようになる。

FIG. 7は、図5の構成を図1～図4の構成に適用した場合において、用紙先端とこの用紙に形成される画像先端との間の余白（ボイド幅）を、スキャナの

続いて、ステップST110で画像処理された画像データ（YMCK）およびステップST106で搬送された用紙Pが、画像形成処理に回される（ステップST112）。この画像形成処理によって、用紙Pの先端から所定のポイド幅W1離れた位置から、画像データ（YMCK）すなわちスキャナ部1で読み取った画像信号（FIG. 7（b））の内容のプリントが、開始される（ステップST114）。

一方、FIG. 5、7、9の実施の形態では、読取倍率400%ではPVSYN C信号の発生タイミングを(48ライン相当分)早めて、用紙Pの先端位置と画像信号内容の先端位置との間のボイド幅VW4が、読取倍率100%の場合の

すなわち、読取倍率が100%基準より大きく（または小さく）なるように変更された場合は、その変更に対応してPVSYNCL信号の発生タイミングを早めて（または遅めて）、倍率変更により増えた遅延量（倍率400%では48ライン分相当）をステップST112の画像形成段階でキャンセルするようにしている。このキャンセル量が、F1G. 7 (d) の画像信号供給タイミング補正量となる。

FIG. 7 (d) ~ (f) では、以上のようにして用紙Pに形成された画像信号の内容の先端とPVS SYNC信号の先頭エッジとの間隔を、d400で表している。FIG. 5、7、9の実施の形態では、読取倍率(100%, 100%)によらずボイド幅を一定(VW1=VW4)とするために、PVS SYNC信号の発生タイミングを歪めることで、用紙Pに形成される画像信号内容の先端とPVS SYNC信号の先頭エッジとの間隔を変更(d100からd400へ)しているともいえる。

[3] 次に、この発明の制御系に係る第2の実施形態について、FIG. 6、FIG. 8、FIG. 10を参照して説明する。

FIG. 6は、図2のマキヤナ部に含まれるCCDセンサおよび画像相正部の内部構成(例2)を示す図である。FIG. 6の構成は、回路構成上は、FIG. 5の回路構成の最終ステージに遅延メモリ570を設けたものとなっている。FIG. 6の回路構成のうちFIG. 5と共通する部分の機能、動作、あるいは符号は、FIG. 5と同様にFIG. 6も持つことができる。

以下、FIG. 6の回路構成で特徴的な部分（FIG. 5の回路構成にない部分）について、説明する。

FIG. 6の実施の形態において、読取倍率400%では、FIG. 5の説明部分で前述したように、48ライン分の画像遅延が必要となる。この48ライン分の遅延を行うのが、遅延メモリ570である。この遅延メモリ570による48ライン分の遅延量と、遅延回路561および562による $8 \times 2 = 16$ ライン分の遅延量を合わせた64ライン分の遅延量が、読取倍率400%時に、FIG. 6の画像補正部105から得られる。読取倍率400%時に64ライン分の遅延

量が得られれば、(後述する用紙搬送タイミングの変更制御との組み合わせによ  
って)読取倍率100%時に16ライン分の遅延量を得たときと同じタイミング  
で用紙に副走査方向の画像書込を開始できる。

すなわち、FIG. 6の構成では、読取倍率100%では遅延メモリ570に  
よる遅延を行わず、読取倍率400%時に遅延メモリ570により48ライン分  
の遅延を行なうようになっている。こうすることで、用紙にプリントされる画像  
の副走査方向の書込開始位置(ボイド幅に対応)が、読取倍率によりずれること  
に対処できる。

換言すると、FIG. 6の構成によれば、FIG. 5の場合のようにPVSYN  
C信号のタイミング制御をしなくても(つまりPVSYN C信号の発生タイミ  
ングを読取倍率によって変更しなくても)、遅延メモリ570による遅延量を適  
宜変更することで、読取倍率変更による上記副走査方向の書込開始位置(ボイド  
幅に対応)のずれに対処できるようになる。

前述した「読取倍率(プリント倍率)によってボイド幅が異なってしまう」問  
題を解消する第2の手段として、メインCPU31は、スキャナCPU100お  
よびプリンタCPU110と協同して、下記(3)の手段を構成している。

(3)前記ボイド幅が前記読取倍率によらず一定となるように(図8(g))、  
給紙機構(FIG. 1の22から26まで用紙Pを搬送する機構)から画像形成  
部(FIG. 1の10y、10m、10c、10kおよび50)への用紙Pの供  
給タイミングを制御する(図8(f)(g))タイミング制御手段。

このタイミング制御で給紙が遅れる時間分が、前記遅延メモリ570による遅  
延に対応するようになっている。

前記ボイド幅が前記読取倍率によらず一定となるメカニズムについては、FIG.  
8を参照して後述する。また、前記ボイド幅を前記読取倍率によらず一定に  
する制御処理手順については、FIG. 10を参照して後述する。

FIG. 8は、図6の構成を図1～図4の構成に適用した場合において、用紙  
先端とこの用紙に形成される画像先端との間の余白(ボイド幅)を、スキャナの  
画像読取倍率に拘わらず一定とする方法(その2)を模式的に説明する図である。  
また、FIG. 10は、図8の方法(その2)に対応した処理手順を説明するフ



ローチャートである。

読取倍率が100% (デフォルト設定) の場合の画像形成状況 (FIG. 8 (a) ~ (c)) および画像形成処理動作 (FIG. 10のステップST200, ST204~ST214) は、それぞれ、FIG. 7 (a) ~ (c) およびFIG. 9のステップST100, ST104~ST114と同様である (遅延メモリ570での遅延量はゼロに設定される)。

FIG. 8 (c) に示す読取倍率100%のボイト幅VW1を、読取倍率に拘わらず一定にする制御は、たとえば次のようにして行われる。

ユーザがFIG. 2の条件設定キー43から、たとえば読取倍率400%を指定し、プリントキー42を押すと、読取倍率が100%から400%に変更されたので (ステップST200イエス)、スキャナCPU100により、遅延メモリの遅延量が、48ライン相当分に変更される (ステップST202)。

このステップST202においては、さらに、プリンタCPU110により、用紙搬送タイミング (給紙タイミング) が、48ライン相当分遅れるように変更される。もし、ステップST212の画像形成処理時に送られてくる用紙Pの搬送タイミングが倍率100%時と同じであると、搬送タイミングが48ライン分早すぎることになり、ステップST208で得た画像信号の内容のプリントが、FIG. 8 (f) に例示するように、用紙先端からボイト幅VW4\*離れた位置から始まることになってしまう。このボイト幅VW4\*は、倍率100%時のボイト幅VW1 (FIG. 8 (c)) よりも、48ライン分 (600dpi) のプリント解像度では約2mm相当) 大きくなる (VW4\* > VW1)。

そこで、FIG. 6、8、10の実施の形態では、読取倍率400%では用紙搬送タイミングを48ライン相当分遅めて、用紙Pの先端位置と画像信号内容の先端位置との間のボイト幅VW4が、読取倍率100%の場合のボイト幅VW1と同じになるようにしている (FIG. 8 (g))。

すなわち、読取倍率が100%基準より大きくなるように変更された場合は、その変更に対応して用紙搬送タイミングを遅めて、倍率変更により増えた遅延量 (倍率400%では48ライン分相当) をステップST212の画像形成段階でキャンセルするようにしている。このキャンセル量が、FIG. 8 (1) (g)

の給紙タイミング補正量となる。

FIG. 6、8、10の実施の形態では、読取倍率（100%、400%）によらずボイド幅を一定（ $VW1 = VW4$ ）とするために、倍率変更に対応して画像遅延量（遅延メモリ570による遅延量）を定め、この画像遅延量に対応して用紙搬送タイミングを遅らせている。こうすることで、ステップST214のプリントアウトにより得られる複写画像において、用紙Pの先端とこの用紙Pに形成される複写画像の先端との間の余白のサイズ（ボイド幅）が、読取倍率の種類によらず一定となる。

Additional advantages and modifications will readily occur to those skilled in the art. Therefore, the invention in its broader aspects is not limited to the specific details and representative embodiments shown and described herein. Accordingly various modifications may be made without departing from the spirit or scope of the general inventive concept as defined by the appended claims and their equivalents.

たとえば、FIG. 7等を参照して説明した制御（読取倍率に応じてPVSYNCの発生/供給タイミングを変更する制御；給紙タイミングは変えない）およびFIG. 8等を参照して説明した制御（読取倍率に応じて給紙タイミングを変更する制御；PVSYNCの発生/供給タイミングは変えない）は、各々単独で用いられてもよいし、双方の制御を組み合わせることもできる。

FIG. 7の制御とFIG. 8の制御とを組み合わせる場合は、画像信号供給タイミングと給紙タイミングとの間の相対的なタイミングを、読取倍率に応じて変更する制御が可能になる。

もちろん、個々の画像形成装置の製品構成に応じて、FIG. 7の制御とFIG. 8の制御とを同時に組み合わせ使用する（この場合は上記相対的タイミング制御）だけでなく、FIG. 7の制御およびFIG. 8の制御のいずれか一方を選択的に切り替え使用できるようにすることもできる。

WHAT IS CLAIMED IS :

1. 原稿の画像を読み取って画像信号を生成する画像読取手段と、  
 前記画像読取手段から供給される前記画像信号に対応する複写画像を前記用紙に形成する画像形成手段と；  
 前記画像形成手段に前記用紙を供給する給紙手段と；  
 前記画像読取手段により前記原稿画像を読み取るときの読取倍率を設定する倍率設定手段と；  
 前記用紙の先端とこの用紙に形成される前記複写画像の先端との間の余白のサイズが前記読取倍率の種類によらず一定となるように、前記画像読取手段から前記画像形成手段への前記画像信号の供給タイミングおよび前記給紙手段から前記画像形成手段への前記用紙の供給タイミングの少なくとも一方を制御するタイミング制御手段と  
 を具備した画像形成装置。
2. 原稿の画像を読み取って画像信号を生成する画像読取手段と；  
 前記画像読取手段から供給される前記画像信号に対応する複写画像を用紙に形成する画像形成手段と、  
 前記画像形成手段に前記用紙を供給する給紙手段と；  
 前記画像読取手段により前記原稿画像を読み取るときの読取倍率を設定する倍率設定手段と；  
 前記用紙の先端とこの用紙に形成される前記複写画像の先端との間の余白のサイズが前記読取倍率の種類によらず一定となるように、前記画像読取手段から前記画像形成手段への前記画像信号の供給タイミングを制御するタイミング制御手段と  
 を具備した画像形成装置。
3. 原稿の画像を読み取って画像信号を生成する画像読取手段と；  
 前記画像読取手段から供給される前記画像信号に対応する複写画像を用紙に形成する画像形成手段と；  
 前記画像形成手段に前記用紙を供給する給紙手段と、

前記画像読取手段により前記原稿画像を読み取るときの読取倍率を設定する倍率設定手段と；

前記用紙の先端とこの用紙に形成される前記複写画像の先端との間の余白のサイズが前記読取倍率の種類によらず一定となるように、前記給紙手段から前記画像形成手段への前記用紙の供給タイミングを制御するタイミング制御手段とを具備した画像形成装置。

4. 原稿の画像を読み取って画像信号を出力するスキャナと、前記画像信号に対応した画像を用紙に複写するプリンタとを備えたものにおいて、

前記スキャナによる原稿の読取倍率を設定する読取倍率設定手段が設けられ、前記スキャナは前記原稿を主走査方向およびこの主走査方向と直交する副走査方向に光学的に走査して得られる信号を出力するイメージセンサを含み；

前記プリンタは前記スキャナに前記副走査方向の読み取りを開始させる副走査読取開始信号を発生する副走査読取開始信号発生手段を含み；

前記読取倍率設定手段により設定された読取倍率に応じて、前記副走査読取開始信号発生手段が前記副走査読取開始信号を発生するタイミングを変更するように構成された画像形成システム。

5 前記用紙の先端とこの用紙に複写される前記原稿の画像の先端との間の余白のサイズが前記読取倍率の種類によらず一定となるように、前記副走査読取開始信号の発生タイミングが変更される請求項4に記載の画像形成システム。

6. 原稿の画像を読み取って画像信号を出力するスキャナと、前記画像信号に対応した画像を用紙に複写するプリンタとを備えたものにおいて、

前記スキャナによる原稿の読取倍率を設定する読取倍率設定手段が設けられ；前記スキャナは前記原稿読取画像を一時記憶してから前記画像信号を出力する遅延メモリを含み；

前記プリンタは前記用紙を供給する給紙手段を含み；前記読取倍率設定手段により設定された読取倍率に応じて、前記遅延メモリに一時記憶された前記画像信号の出力タイミングと、前記給紙手段による前記用紙の供給タイミングとの相対的なタイミングを変更するように構成された画像形成システム。

7. 前記用紙の先端とこの用紙に複写される前記原稿の画像の先端との間の余白のサイズが前記読取倍率の種類によらず一定となるように、前記相対的なタイミングが変更される請求項6に記載の画像形成システム。

11. 原稿のカラー画像を読み取る光学手段と、

前記光学手段で読み取られたカラー画像を主走査方向およびこの主走査方向と直交する副走査方向に尋査してこのカラー画像から異なる色の画像信号を出力するものであって、前記副走査方向に所定の間隔を置いて配置された複数のラインセンサを含むイメージセンサと；

前記複数のラインセンサの前記副走査方向の所定間隔に対して生じる前記異なる色の画像信号間のタイミングずれを補正するタイミング補正手段と、

前記タイミング補正手段で補正された異なる色の画像信号に基づき、前記原稿のカラー画像に対応するカラー画像を用紙に複写する複写手段と、

前記原稿の読取倍率を決定する読取倍率決定手段と；

前記読取倍率決定手段により設定された特定の読取倍率に基づいて、前記イメージセンサの動作タイミングおよび前記複写手段の動作タイミングのうち少なくとも一方の動作タイミングを変更するタイミング制御手段と

を具備したカラー画像形成装置。

12. 前記イメージセンサが、前記主走査方向に光電変換素子が多数並んだ3本のラインセンサを含み、

前記3本のラインセンサが、前記副走査方向に所定の間隔を置いて並行に配置された、第1の原色用ラインセンサと、第2の原色用ラインセンサと、第3の原色用ラインセンサとで構成される請求項8に記載の画像形成装置。

10. 前記タイミング補正手段が、前記第1の原色用ラインセンサで読み取られた第1の色の画像信号を前記所定間隔の2倍に対応する時間で遅延させる第1の遅延回路と、前記第2の原色用ラインセンサで読み取られた第2の色の画像信号を前記所定間隔の2倍に対応する時間で遅延させる第2の遅延回路とを含む請求項9に記載の画像形成装置。

11. 前記タイミング補正手段が、前記第1の遅延回路で遅延された前記第1の色の画像信号と、前記第2の遅延回路で遅延された前記第2の色の画像信号と

と、前記第3の原色用ラインセンサで読み取られた第3の色の画像信号とを同時に記憶し、記憶された前記第1の色の画像信号、第2の色の画像信号、および第3の色の画像信号を、所定時間後に同時に出力する遅延メモリをさらに含む請求項10に記載の画像形成装置。

12. 原稿の画像を読み取って画像信号を出力するスキャナと前記画像信号に対応した画像を用紙に複写するプリンタとを備え、前記スキャナによる原稿の読取倍率を設定する読取倍率設定手段が設けられ、前記スキャナが前記原稿を主走査方向およびこの主走査方向と直交する副走査方向に光学的に走査して得られる信号を出力するイメージセンサを含み、前記プリンタが前記スキャナに前記副走査方向の読み取りを開始させる副走査読取開始信号を発生する副走査読取開始信号発生手段を含むシステムを用いるものにおいて、

前記読取倍率を変更されたかどうかチェックし、

前記読取倍率設定手段により前記読取倍率を変更された場合は、変更された読取倍率に応じて、前記副走査読取開始信号の発生タイミングを変更する

ように構成された画像形成方法。

13. 前記用紙の先端とこの用紙に複写される前記原稿の画像の先端との間の余白のサイズが前記読取倍率の変更に関わらず一定となるように、前記副走査読取開始信号の発生タイミングが変更される請求項12に記載の画像形成方法。

14. 原稿の画像を読み取って画像信号を出力するスキャナと前記画像信号に対応した画像を用紙に複写するプリンタとを備え、前記スキャナによる原稿の読取倍率を設定する読取倍率設定手段が設けられ、前記スキャナが前記原稿の読取画像を一時記憶してから前記画像信号を出力する遅延メモリを含み、前記プリンタが前記用紙を供給する給紙手段を含むシステムを用いるものにおいて、

前記読取倍率を変更されたかどうかチェックし、

前記読取倍率設定手段により前記読取倍率を変更された場合は、変更された読取倍率に応じて、前記遅延メモリに一時記憶された前記画像信号の出力タイミングと、前記給紙手段による前記用紙の供給タイミングとの相対的なタイミングを変更する

ように構成された画像形成方法。

15. 前記用紙の先端とこの用紙に複写される前記原稿の画像の先端との間の余白のサイズが前記読取倍率の変更に関わらず一定となるように、前記相対的なタイミングが変更される請求項14に記載の画像形成方法。





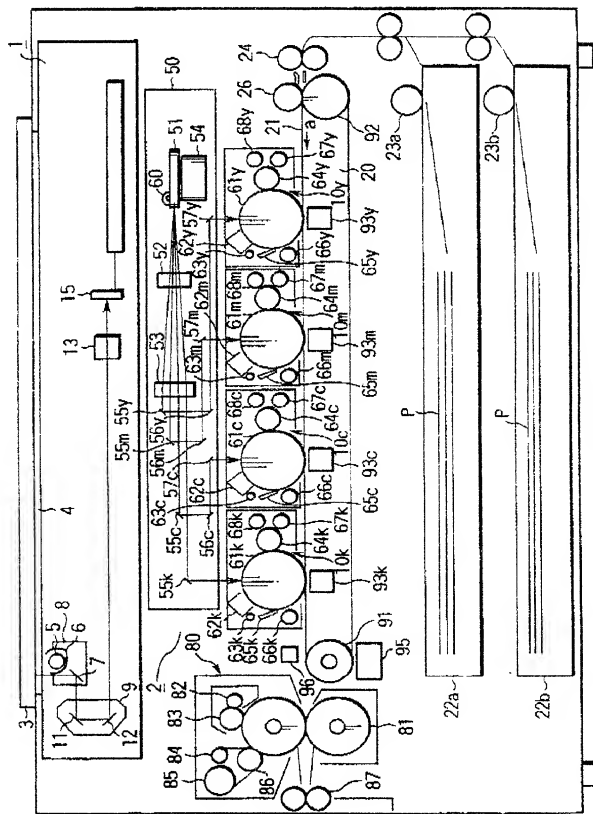


FIG. 1

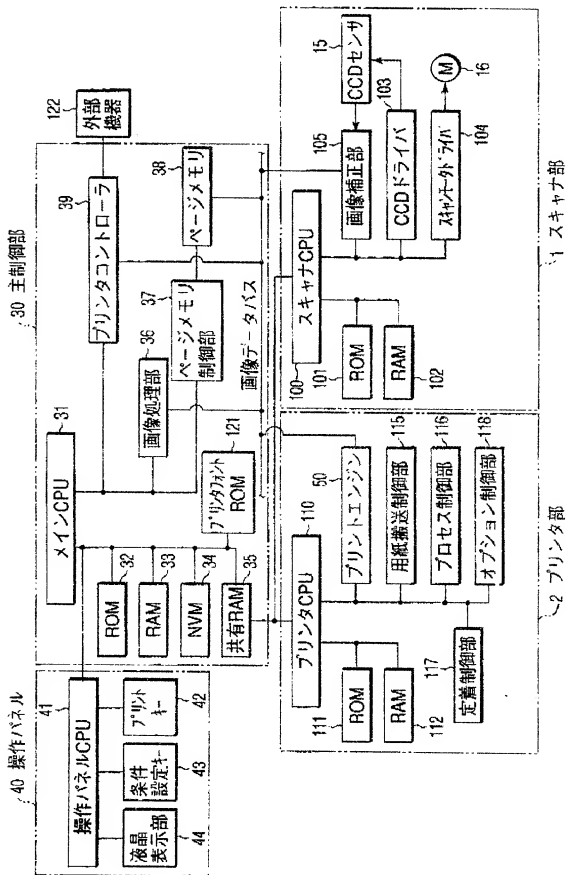


FIG. 2

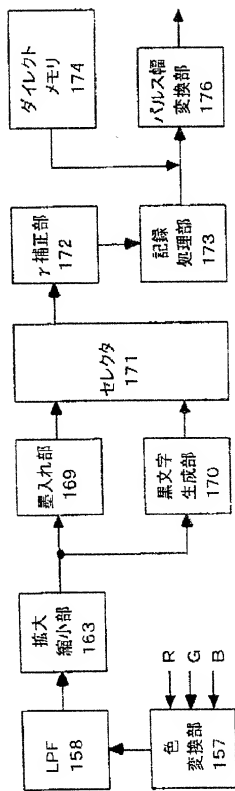


FIG. 3

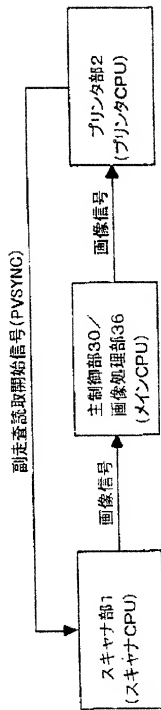


FIG. 4

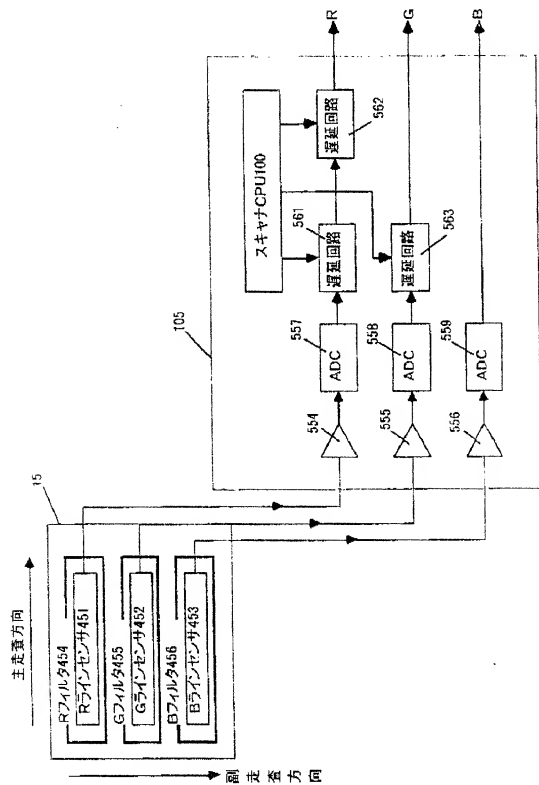


FIG.5

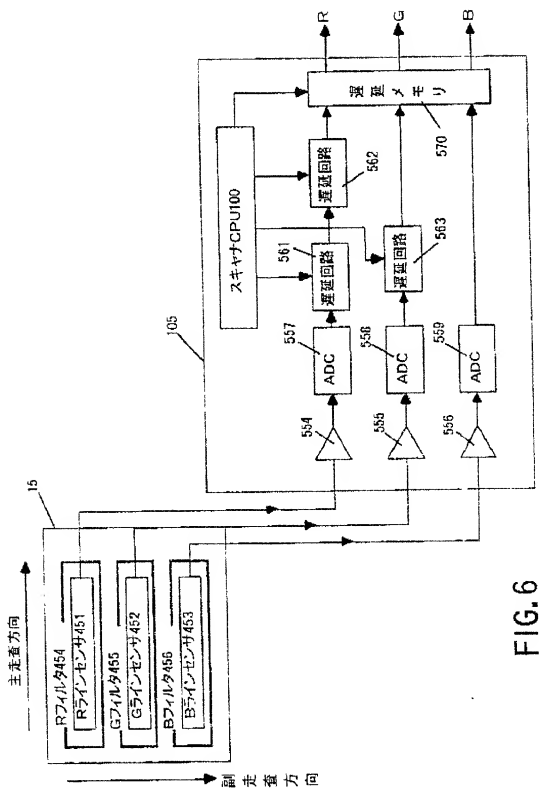


FIG. 6

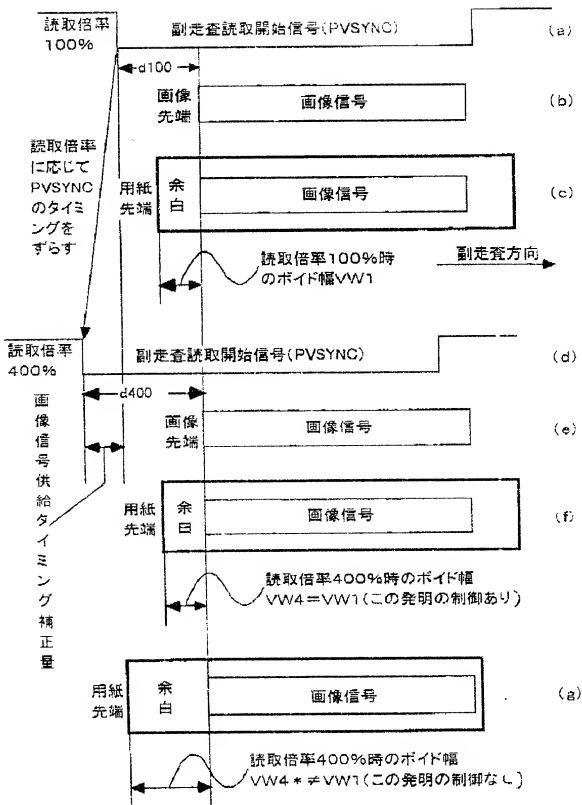


FIG. 7

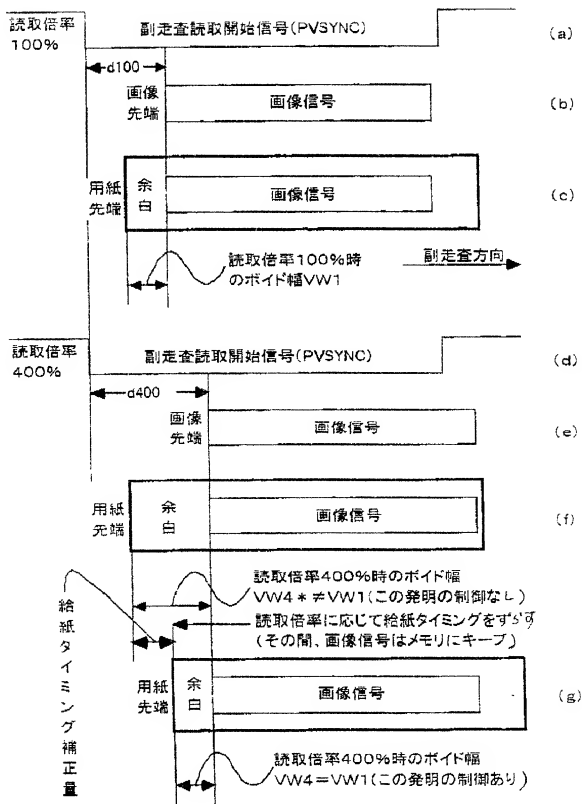


FIG. 8

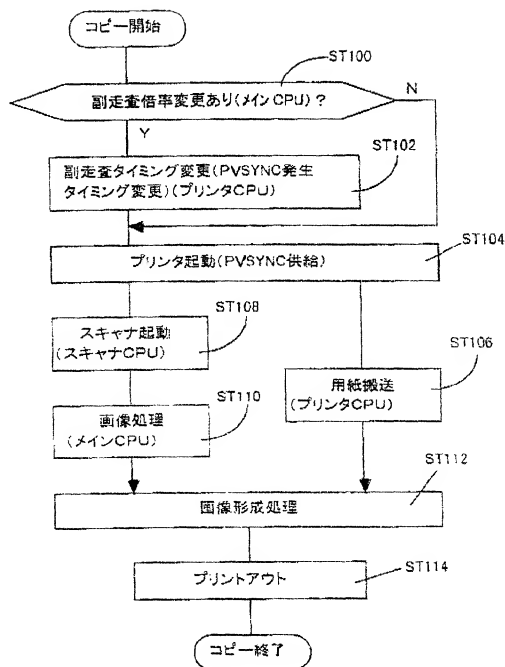


FIG.9





# DECLARATION FOR PATENT APPLICATION

As a below named inventor, I declare that I verily believe myself to be the original, first and sole (if only one individual inventor is listed below) or an original, first and joint inventor (if more than one individual inventor is listed below) of the invention in

## IMAGE FORMING SYSTEM WITH SCANNER CAPABLE OF CHANGING MAGNIFICATION OF SCANNED IMAGE

the specification of which is attached hereto unless the following box is checked.

☐ was filed on \_\_\_\_\_ as United States Application or PCT International Application No. \_\_\_\_\_ and was amended on \_\_\_\_\_ (if applicable).

I hereby state that I have reviewed and understand the contents of the above identified specification including the claims, as amended by any amendment referred to above.

I acknowledge the duty to disclose information of which is material to patentability as defined in 37 CFR 1.55.

I hereby claim foreign priority benefits under 35 U.S.C. 119(a)-(d) or 365 (b) of any foreign application(s) for patent or inventor's certificate, or 35 U.S.C. 365(a) of any PCT International application which designated at least one country other than the United States, listed below and have also identified below any foreign application for patent or inventor's certificate, or PCT International application having a filing date before that of the application on which priority is claimed:

<u>Country</u>	<u>Category</u>	<u>Application No.</u>	<u>Filing Date</u>	<u>Priority Claim</u>
----------------	-----------------	------------------------	--------------------	-----------------------

And I hereby appoint Stephen A. Bent (Reg. No. 29,766), David A. Blumenthal (Reg. No. 26,257), Detra A. Burrows (Reg. No. 35,687), Alan I. Cantor (Reg. No. 28,163), William T. Ellis (Reg. No. 26,874), John J. Feldhaus (Reg. No. 28,822), Patricia D. Granados (Reg. No. 33,683), John P. Isaacson (Reg. No. 33,715), Michael D. Kahlbasal (Reg. No. 32,904), Lyle K. Kims (Reg. No. 34,079), Kenneth E. Krohn (Reg. No. 25,733), Johnny A. Kumar (Reg. No. 34,549), Glenn Law (Reg. No. 34,371), Peter G. Meck (Reg. No. 26,001), Brian J. McNamara (Reg. No. 32,789), Sybil Meloy (Reg. No. 22,749), Richard C. Peet (Reg. No. 35,792), George E. Quillin (Reg. No. 32,792), Colin G. Sandercock (Reg. No. 31,298), Bernhard D. Saxe (Reg. No. 28,665), Charles F. Schill (Reg. No. 27,590), Richard L. Schwab (Reg. No. 33,479), Arthur Schwartz (Reg. No. 22,115) and Harold C. Wegner (Reg. No. 25,258), each of whose address is 3000 K Street, N.W., Suite 500 Washington, D. C. 20007-5109, or any one of them, my attorneys with full power of substitution and revocation, to prosecute this application and to transact all business in the Patent & Trademark Office connected therewith, and request that correspondence be directed to Foley & Lardner, 3000 K Street N.W., Suite 500, Washington, D. C. 20007-5109

I declare further that all statements made herein of my own knowledge are true and that all statements made on information and belief are believed to be true and further that these statements were made with the knowledge that willful false statements and the like so made are punishable by fine or imprisonment, or both, under Section 1001 of Title 18 of the United States Code and that such willful false statements may jeopardize the validity of the application or any patent issued thereon

## DECLARATION FOR PATENT APPLICATION

I declare further that my citizenship, residence and post office address are as stated below next to my name

Inventor: (Signature)

Date \_\_\_\_\_

Residence and post office address

Date: SEP. 21. 2000

14-19-102.  
Tsunashimahigashi 1-chome.  
Konoku-ku. Yokohama-shi,  
Kanagawa-ken, Japan

Citizen of Japan

Kanagawa-ken, Japan

Naoya Murakami

Date: \_\_\_\_\_

Citizen of: Japan

Date: \_\_\_\_\_

Citizen of Japan

Date \_\_\_\_\_

Citizen of Japan

Date \_\_\_\_\_

Citizen of: Japan

De Le

Citizen of Japan

Date \_\_\_\_\_

Citizen of: Japan

Date:

Citizen of Japan